

橋本市人口ビジョンの概要

人口の現状

本市の人口

1999年（平成11年）の71,855人をピークに減少
2015年（平成27年）の人口は、65,479人
毎年約550人減少（2010年度から5年間）

●自然動態

約270人/年の減少
（2010年度からの5年平均）

- ・2002年以降減少継続
死亡数が出生数を超過
- ・合計特殊出生率：1.26
国（1.38）、和歌山県（1.46）
と比較して低い水準
（2008年から2012年）
- ・希望出生率：1.85と現実と乖離
- ・婚姻率も全国、和歌山県と比較し
低い

●社会動態

約280人/年の減少
（2010年度からの5年平均）

- ・1999年以降減少継続（転出>転入）
- ・15歳から34歳で転出超過傾向
- ・大阪府への転出超過
- ・近隣市から転入超過
- ・転出入の理由は就職等が多い
- ・転入の理由は、通勤通学の利便性、
親・子供の家が近い、故郷である
が多い

将来人口の推計

2040年には 4万8千人程度（高齢化率：40%）
2060年には 3万4千人程度（高齢化率：44%）

保育・教育、地域経済、福祉・医療など多方面で影響

人口の展望と目指す将来の方向

橋本市の人口：2060年に **4万7千人**程度 の人口を確保し、
「元気なまち 橋本市」を目指す。

自然動態 増

若い世代の
希望をかなえるまち

結婚希望

妊娠希望

出産希望

子育て希望

年少人口 増

出生率 増

女性人口 増

出生率：1.55 → 1.8 → 2.07
2020年 2030年 2040年

生産年齢人口の減少に歯止め

社会動態 増

住んでよかった
住みたくなる まち

しごとの量・質

生活・住環境

交流人口

愛着・郷土愛

生産年齢人口 増

転入者 増

転出者 減

転出傾向の強い20歳から34歳まで
の純移動率を抑制し2035年に均衡

年齢構成のバランスの維持

2040年に5万4千人程度（高齢化率：36%）
2060年に4万7千人程度（高齢化率：32%）